

生きる力をはぐくむ 歯・口の健康づくり推進事業

千葉県 研究推進校
勝浦市立上野小学校

1 研究主題

「生きる力」をはぐくむ自らの健康を適切に管理する能力の育成

～地域・関連機関と連携した「歯・口の健康づくり」を通して～

2 実践報告

(1) 学校歯科医との連携



各学年において学校歯科医からお話をいただく場を設けた授業を行った。

(2) 栄養教諭との連携



栄養教諭に授業に参画してもらい、より専門的なお話をしていただいた。

(3) ことばの教室指導教員との連携



ことばの教室指導教員に息育指導をおこなっていただいた。鼻呼吸の大切さを教わった。

(4) 保護者の参加



関連機関と連携を図った授業に、保護者の参加を呼び掛けた。多くの参加があった。

(5) 日常実践

- ・ 歯科検診の結果を歯の健康ノートに記録をする
- ・ かみかみタイムや歯磨きタイムの実施
- ・ 「いきいきうえのっ子」の取組
- ・ 児童健康委員会の取組 など・・・



県からの認定証



委員会の発表

3 研究の成果

- ・ 学校歯科医の授業参画により、正しい知識を得ることができ、給食後の歯みがきでは、鏡を見ながらきちんと歯をみがこうという意識が高まった。
- ・ 栄養教諭の授業参画により、バランスのよい食事をとることの大切さや野菜をとることの必要性を学ぶことができ、給食の残菜が減ってきた。
- ・ ことばの教室指導員による息育指導では、鼻呼吸と口呼吸の違いを知った。また、朝の会等に「あいうべ体操」に、継続的に取り組み、鼻呼吸を意識することで、口腔内の乾燥を防ぎ、歯を健康に保つ習慣が身に付いてきた。
- ・ 歯・口の健康づくりに関する授業に、親子で参加したことにより、保護者が家庭での食生活や生活習慣の見直しをするきっかけとなった。
- ・ 給食時の「かみかみタイム」の設定や「かみかみセンサー」を使った指導により、噛む事への意識が高まり、給食の時も落ち着いて食事をするようになった。
- ・ 継続的な「健康ノート」の記入により、学校と保護者との連携が図れるようになり、児童だけでなく、家庭の「歯や口の健康」に対する意識も向上した。
- ・ いきいき上野っ子生活習慣チェック表の集計から、30項目中20項目、数値が上がる結果が得られた。これは、自らの健康作りに関する課題を見つけ、主体的に解決しようとする意識が高まってきたからと考えられる。